

2008年3月14日
MR/J07/08



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京都渋谷区神宮前 5-53-70

Tel.: +81-3-5467-1212
Fax: +81-3-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: http://www.unu.edu/

メディア用原稿
非公式記録

国連大学、第2回市民公開講座を開催 水の安全保障について考える

講座名: 国際連合大学公開講座～地球規模課題シリーズ
テーマ: 水の安全保障
日時: 2008年3月21日(金) 午後4時30分～午後6時50分
場所: 国連大学本部ビル(渋谷区) 5階エリザベス・ローズ国際会議場
講師: 中山幹康氏 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
コメンテーター: 高橋 裕氏 東京大学名誉教授 / 国連大学上席学術顧問

- 国連大学では、第2回「国連大学公開講座～地球規模課題シリーズ」を開催する。本講座は日本語による市民向けの講座で、国連大学にご協力いただいている専門家と一緒に国際的な諸問題について考えていくイベント。対象は、学界、産業界、一般市民を含めた幅広い方々。各回のテーマは、国連大学出版部が刊行する図書から選択し、講師にそれぞれの図書の著者または編者をお迎えします。
- 2月22日(金)に開かれた第1回講座では、2007年に刊行された『Unintended Consequences of Peacekeeping Operations』の編者の一人である青山学院大学准教授の青井千由紀氏が講演。幅広い層から75名が参加。終了後のアンケートでは、8割以上の参加者が「次回も参加したい」と回答。
- 第2回講座は、来る3月21日(金)午後4時半に開催。講師は2008年3月に国連大学出版部から刊行された『International Water Security: Domestic Threats and Opportunities』の編者の一人、東京大学教授の中山幹康氏。コメンテーターには、東京大学名誉教授の高橋裕氏。参加者と共に、水をめぐる国際問題について考える。
- 本講座はどなたでもご参加可能。会場の都合上、要事前申込み。なお、当日の様子は、ウェブキャストでも閲覧可能。詳細はこちら。

www.unu.edu/jp/isgi/

当講座の取材をご希望される方は、国連大学広報部の谷野(やの)までご連絡ください。(電話: 03-5467-1311、Eメール: media@unu.edu)

背景

- 水資源の希少化によって水の価値が高まるにつれ、河川や湖沼など国際流域における沿岸諸国間の係争が増えるのではないかと懸念されており、21世紀には「水をめぐる戦争」が起きるのではないかとさえ言われている。このような対立を緩和・解決するために国際機関が果たせる役割は、水資源が不足しつつあるという認識に基づいて沿岸諸国のための水資源に関する枠組みをつくることである。
- アジアには、世界人口の半分以上が住んでいるにも関わらず、水資源は世界全体の36%にすぎず、将来、深刻な水不足に陥る危険に直面している。ミレニアム開発目標(MDGs)では、「2015年までに、安全な飲料水と基礎的な衛生施設を継続的に利用できない人々の割合を半減する」と謳っており、国連ミレニアム宣言では、共有する環境の保護という観点から、全ての国において持続不可能な水資源の利用を停止する決意の重要性も強調している。
- 1992年に開催された国連総会本会議において、毎年3月22日を「世界水の日」とすることが決議された。

国際連合大学は、人間の安全保障や開発といったグローバルな課題に関する知識の普及と人材の育成を目的として1975年に設立された、本部(東京)を拠点に世界各地に研究のネットワークを持つ国連総会傘下の独立機関です。
